

カリキュラム

機構施設名： 沖縄職業能力開発促進センター
実施機関名： 一社)カウンセリング・レビュー・ラボ

B.生涯キャリア形成	中堅・ベテラン従業員による組織の活性化のための相談技法
役割の変化への対応	

コースのねらい	中堅・ベテラン従業員がこれまでに培った経験を活かし、後輩従業員の抱える悩み等に対してメンターとして相談援助を行っていくために必要な知識と技能を習得する。
---------	--

講義内容	「基本項目」		「主な内容」	訓練時間 (H)
	1	職場の課題	(1) 職場の現状把握 ・職場の成果が向上するには従業員相互の関係構築の重要性を認識する。 ・「職場内の関係構築」をテーマに強み・弱みをリストアップする。 ○個人演習①、グループ演習① (2) 職場の課題と解決のプロセス ・個人演習①の結果をグループ毎に発表、相互に質問と個別に回答をする。 ・グループ発表で浮かびあがったテーマを絞り込み、グループごとにその課題解決策を話し合う。 ○グループ演習②	1.5
	2	求められる役割	(1) 職務経験の確認 ・中堅・ベテラン従業員としての職務上の役割を果たすために重要な「キャリア上の価値観」を理解する、キャリア・アンカーの解説。 ・自らの「キャリア・アンカー」を探索するために「セルフ・アセスメント」作成に取り組む。 ○講義と個人演習② (2) 上司とのコミュニケーションによる役割の確認 ・職務上の周囲の人々からの自分自身への期待について考察する必要性を解説。(キャリア・サバイバル) ・「周囲からの期待」を図式に表す、「役割ネットワーク図」と「期待に応える私のチャレンジ」を作成する。 個人演習③ 'グループ演習③ 自らの「キャリア・アンカー」(セルフアセスメント)と、「役割ネットワーク図」を確認し自らの職務上の「強みと弱み」についてグループ内で上司面談を想定した対話訓練を実施。	1.5
	3	メンタリングによる相談援助	(1) メンタリングとは ・メンターが、メンティーのキャリア発達を促す援助過程「メンタリング」について解説する。 ・「メンタリング」を理解した上で、受講者が過去に先輩から受けた指導と援助を振り返る。 ○講義 ○個人演習④ '○グループ演習④ (2) メンタリングのポイント ・新入社、中途入社に関わらず社員としてのキャリアにいち早く。順応し、自律してもらうための「相手へのフィードバック」の技法を学習する。 ・グループ演習③で相手が話した「弱みや苦手」なポイントを「相手のアンカー」に結び付けて伝える(フィードバック訓練)ことを目指す。 ○講義 グループ演習⑤ (3) フィードバックの導入と効果 ・「フィードバック」を一方通行の評価として終わらせず、「相互理解のプロセス」に変える習慣を身につける。 ・「フィードバックへのフィードバック(メタ・フィードバック)」により問いかけるプロセスを実施し、その効果について話し合う。 ○講義 グループ演習⑥ (4) メンタリングに必要なコーチング力 ・周囲の期待に応えようとして頑張る姿を応援するスケーリング ・コーチングを学ぶ。 ・コーチングガイドに基づいて記述した内容を元に、相互にコーチングを試してみる。 ○講義 個人演習⑤ グループ演習⑦	3.0
	合計時間			6.0